

国際科学アカデミーと日本農学アカデミーの 連携強化に向けて

佐々木 恵彦

日本農学アカデミー会長

日本大学副総長

第17期の学術会議においては、女性会員の増加、内部組織の改革などを行いながら、日本における学術会議の重要性をアピールしてきた。学術会議の役割の大きな部分はアカデミーとしての機能であると思っている。世界のアカデミーの中で、先進国のアカデミーの大半はNGOであり、政府とは独立した組織となっている。我が国のアカデミーは学士院であるが、政府機関であり、色々な制約があり、十分な国際的なアカデミー活動を行うためには、難しい条件が多い。こうした点から見ると、学術会議は、政府の機関でありながら、法律によってその独立性を保証された機関であり、その活動目標が科学技術や学術の振興であり、アカデミーとしての機能を果たしやすくなっている。

世界のアカデミーは、1900年代になって、国際的な活動を活発化してきている。まず、1993年にニュー・デリーで開催された人口問題会議において報告書を作り、声明を発表し、それに各アカデミーが署名をした。そのあと、人口と開発に関するインターアカデミーパネ

ルを結成したが、すぐに、国際問題に関するインターアカデミーパネルとして幅広い問題を取り扱う組織に変わった。アカデミー自身の国際会議、インターアカデミーパネル (IAP) 会議を1995年1月にニュー・デリーで開催した。その後、幹事会は1996年1月にワシントン、1996年9月にワシントンとその活動を活発化し、1996年にイスタンブールにおいて開催されたハビタートII会議（居住地に関する会議II）において、工学アカデミー (CAETS) との共催のフォーラムを行い、世界アカデミーの声明「科学技術と都市の将来」を出した。こうした活動を通して、国際科学会議 (ICSU) との関係の調整、新しい世紀2000の世界へ向けての科学界からの所信表明などの課題が浮かび上がってきた。これらの問題を討議するために、1997年9月にリオ・デ・ジャネーロでインターアカデミーパネルの幹事会が開催され、日本学術会議がIAPの日本代表として承認されたことになった。

その後のIAPの活動については学術の動向 (2000-7) で報告したように、

2000年5月15日から18日までの4日間の世界科学アカデミー会議が大きな活動であった。この会議においては、「21世紀の世界における持続可能性への移行」がテーマになった。この会議の内容は、Web サイト <http://interacademies.net> にアクセスすると、全ての講演を英語の音声で聞けることができる。農学アカデミー会員の皆様も、是非一度このWeb サイトにアクセスして頂きたい。

この会議において、Interacademy Council (IAC) を形成した。この組織は、IAP の中に作られたもので、アメリカのアカデミーの会長、アルバーツが会長となり、幹事国数国からの委員によって構成される評議員会を設立した。この評議員会において、短期的な重要課題を決定し、各アカデミーが協力して問題解決を行っていくことになっている。このための資金は世界銀行が出資することになっている。ICSU、IAP、IAC の三者がどのような関係になるかが議論となったが、最終的に、IAC の結成が承認された。特に、ICSU などの活動と重複しないように ICSU の会長が評議員会のメンバーとなることになっている。IAC の形成に当たって、各国のアカデミーが協力することになっているが、問題解決のためには、さらに専門集団が必要であり、各国の科学者集団が協力することになった。我が国にも、問い合わせがあり、工学アカデミー、農学アカデミー、医歯薬アカデミーの三団体が IAC の補助団体として登録された。したがって、農学アカデミーは国際的にも認知されたことになった。

IAP の世界会議、世界アカデミー会議を主催したほか、第17期の学術会議ではアジア学術会議を結成することに成功した。日本を含め、アジア10カ国で形成するアジア学術会議が2001年5月にタイのバンコックにおいて、第1回の会議を開催する。今後、アジアにおける科学の課題について、共同プロジェクトを設定するなど、活動をするところになっている。特に、環境指標の開発について、各国が興味を示している。この指標は GNP が経済指標であるように、各国の環境状況を判断するためのものである。このようなプロジェクトにおいても、農学アカデミーの出番があるものと期待している。このように、国際的にも、活動の場が多くなってくると思われる。

農学アカデミーの活動はボランティア活動が基本であり、会員の皆様に色々とお苦勞をおかけすることになるが、是非とも、国際的な活動を強化していただきたい。